B5FH-A712-01-00

FMV- 6000NU/L, 6700NU9/L, 675NU9/L

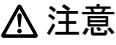
ハードウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本パソコンをお使いください。
また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⦸で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

はじめに

添付のマニュアルについて

本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。

●はじめにお読みください
　梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。

●ハードウェアガイド・ダイジェスト（本書）
　パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
　なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

●ソフトウェアガイド・ダイジェスト
　Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
　なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

●FMV マニュアル（▶ P.3）
　PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD ／マニュアル CD」に収録しています。
　『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
ドライバーズ CD ／マニュアル CD	ドライバーズ CD	

FMV マニュアルの参照

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』、『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」（Manual.pdf）からご覧になれます。

重 要

- **周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。**
- **「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。**

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

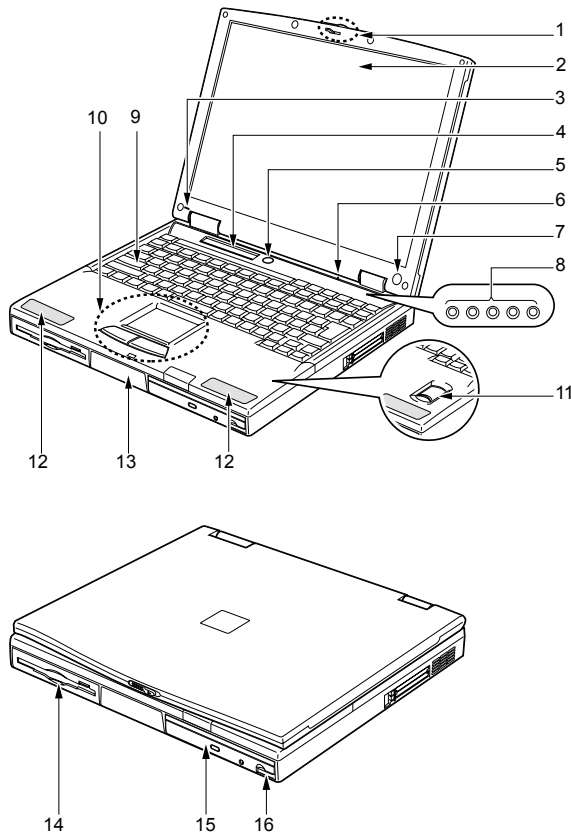
3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。

4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

重 要

- **CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。**
- **ポータブル CD-ROM を使用する場合、ポータブル CD-ROM の PC カードをセットしてください（▶ P.11）。また、ポータブル CD-ROM ドライブの使用方法は、ポータブル CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください。**

各部の名称と働き

パソコン本体前面

1 ラッチ

液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。

液晶ディスプレイを開くときは、右にスライドしてロックを外します。

2 液晶ディスプレイ

本パソコンの画面を表示します。

POINT

- 液晶ディスプレイの特性について

  以下は液晶ディスプレイの特性なので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

  ・本パソコンの TFT カラー液晶ディスプレイは高度な技術を駆使し、一画面上に 235 万個以上(解像度 1024 × 768 の場合)の画素(ドット)より作られております。このため、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。

  ・本パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。

3 内蔵マイク

音声(モノラル)を録音できます。

POINT

- カラオケソフトなど、マイクとスピーカーを同時に使用するソフトウェアをお使いの場合、ハウリングが起きる場合があります。このようなときは、音量を調整するか、市販のヘッドホンや外付けマイクをお使いください。また、マイクを使用していないときは、マイクを「ミュート」(消音)にしてください(••▶『ソフトウェアガイド』参照)。
- 内蔵マイクをお使いの場合は、液晶ディスプレイを閉じないでください。ハウリングを起こす場合があります。
- 内蔵マイクから録音する場合、音源との距離や方向によっては、音がひろいにくい場合があります。クリアな音声で録音したい場合には、外付けマイクを使用されることをお勧めします。

4 状態表示 LCD(エルシーディー)

本パソコンの状態が表示されます。

「状態表示 LCD について」(••▶『ハードウェアガイド』参照)

5 SUS/RES(サスレス)スイッチ

パソコン本体をサスペンド(一時停止)/レジューム(再開)させるためのスイッチです。

6 カバークローズスイッチ

液晶ディスプレイを開閉したときに、本パソコンをサスペンド(一時停止)/レジューム(再開)させたり、液晶ディスプレイのバックライトを消灯させたりするためのスイッチです(••▶『ソフトウェアガイド』参照)。

7 ワイヤレスマウス受光部(ワイヤレスマウス添付モデルのみ)

ワイヤレスマウスの赤外線信号を受信します。

「ワイヤレスマウスについて」(••▶『ハードウェアガイド』参照)

8 セキュリティボタン（セキュリティボタン搭載モデルのみ）
お使いのモデルにより、セキュリティボタンを搭載しています（▶『セキュリティボタン取扱説明書』参照）。
添付の「セキュリティボタン」で設定したパスワードの入力や、添付の「ワンタッチボタン設定」で割り当てたアプリケーションの起動や新着Eメールの受信などを行うボタンです。添付の「セキュリティボタン」または「ワンタッチボタン設定」をインストールすると、使用することができます（▶『ソフトウェアガイド』参照）。
「セキュリティについて」（▶『ハードウェアガイド』参照）

9 キーボード
文字を入力したり、パソコン本体に命令を与えます。
「キーボードについて」（▶『ハードウェアガイド』参照）。

10 フラットポイント
マウスポインタを操作します（▶『ハードウェアガイド』参照）。
お使いのモデルによっては、内蔵ポインティングデバイスの代わりにマウス（▶P.8）が添付されている場合があります。

11 指紋センサー（指紋センサーモデルのみ）
お使いのモデルにより、指紋センサーを搭載しています（▶『指紋センサー取扱説明書』参照）。
指紋を識別してセキュリティを解除します。
「セキュリティについて」（▶『ハードウェアガイド』参照）

12 スピーカー
本パソコンの音声が出力されます。

13 内蔵バッテリパック
内蔵バッテリパックが装着されています。
「内蔵バッテリパックを交換する」（▶『ハードウェアガイド』参照）

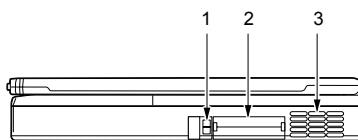
14 フロッピーディスクドライブ
フロッピーディスクを読み書きします（▶『ハードウェアガイド』参照）。

15 マルチベイ
お使いのモデルにより、次のいずれかが取り付けられています。
・内蔵 CD-ROM ドライブユニット
・内蔵 CD-R/RW ドライブユニット
・マルチベイ用カバー
「マルチベイユニットについて」（▶『ハードウェアガイド』参照）

POINT

- マルチベイが空の状態では本パソコンを使用しないでください。故障の原因となります。

16 マルチベイユニット取り外しボタン
マルチベイに取り付けられているユニットを取り外す場合に使用します（▶『ハードウェアガイド』参照）。

パソコン本体右側面

1 PC（ピーシー）カード取り出しボタン
PC カードを取り出すときに押します。
「PC カードを取り出す」（▶『ハードウェアガイド』参照）

2 PC カードスロット
PC カードをセットするためのスロットです（▶P.11）。
下段がスロット 1、上段がスロット 2 です。

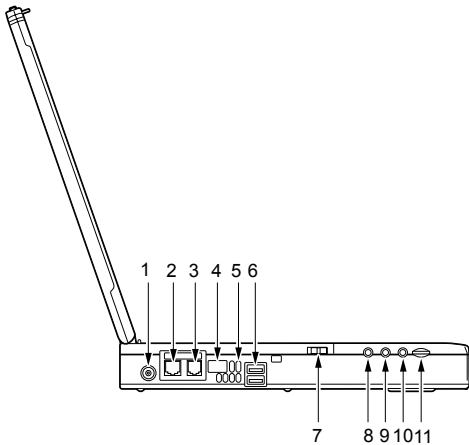
POINT

- お使いになる OS によっては「スロット 1」を「スロット 0」、「スロット 2」を「スロット 1」に読み替える場合があります。

3 空冷用ファン
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのファンです。
パソコン本体内部の温度が高くなると回転します。

⚠ 注意

- 空冷用ファンの穴はふさがないでください。パソコン本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

パソコン本体左側面

1 DC-IN（ディーシーイン）コネクタ
添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

2 LAN（ラン）コネクタ（LAN 搭載モデルのみ）
お使いのモデルにより、LAN コネクタを搭載しています（••▶『ハードウェアガイド』参照）。
LAN ケーブルを接続します。

3 モジュラーコネクタ（モデム搭載モデルのみ）
お使いのモデルにより、モジュラーコネクタを搭載しています（••▶『ハードウェアガイド』参照）。
インターネットやパソコン通信をするときに、モジュラーケーブルを使ってパソコン本体と電話回線を接続するためのコネクタです。

4 赤外線通信ポート（Windows NT ではサポート外）
赤外線通信を行うためのインターフェースです。

POINT

- 赤外線通信ポートは、Windows 98 モデルにインストールされているアプリケーション「Intellisync」にてお使いになれます。また、Windows Me モデルまたは Windows 2000 モデルでは、「ワイヤレスリンク」にてお使いになれます（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。
- 赤外線通信を行っているときは、赤外線通信ポートに AC アダプタや外部ディスプレイを近づけないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

5 吸気孔
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

⚠ 注意

- 吸気孔の穴はふさがないでください。
パソコン本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

6 USB（ユーエスビー）コネクタ（Windows NT ではサポート外）
USB 接続に対応したプリンタなど、USB 規格の周辺機器を接続します。2 ポートあります。USB 規格の周辺機器をどちらのポートに接続してもかまいません。

7 MAIN（メイン）スイッチ
本パソコンの主電源スイッチです。

⚠ 注意

- ヘッドホン・ジャック、ラインイン・ジャック、マイクイン・ジャックに接続するときは、パソコン本体の音量を最小にしてから接続してください。
機器が破損したり、刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

8 マイクイン・ジャック
市販のマイクを接続し、音声（モノラル）を録音するための端子です（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。
ただし、市販されているマイクの一部の機種（ダイナミックマイクなど）には、使用できないものがあります。ご購入前に確認してください。

9 ラインイン・ジャック
AV 機器などの出力（LINE OUT）ジャックと接続するためのアナログ入力（LINE IN）端子です（外径 3.5mm のステレオミニプラグに対応）。

10 ヘッドホン・ジャック
市販のヘッドホンを接続するための端子です（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。ただし、形状によっては取り付けられないものがあります。ご購入前に確認してください。

⚠ 注意

- ヘッドホンなどをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

- ヘッドホンなどをしたまま電源を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

11 **音量ボリューム**

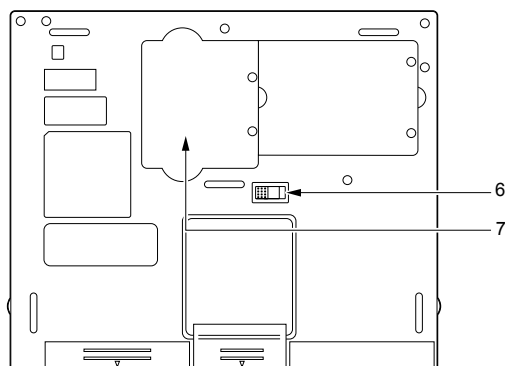
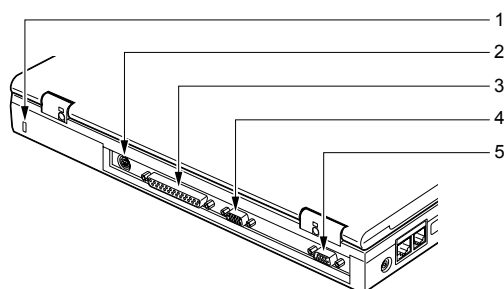
音量を調節します。手前側に回すと小さく、奥側に回すと大きくなります。

音量ボリュームでは、タスクバーの音量アイコンをクリックして表示される音量つまみで設定した音量を最大音量とし、その範囲で音を小さくしたり大きくしたりできます。

音声入出力時のバランスや音量などは、「ボリュームコントロール」または「Volume Control」などのダイアログボックスで設定できます（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。

POINT

- 音量ボリュームで音量を調節しても音が聞こえない場合は、ピーという音がするまで【Fn】キーを押しながら【F3】キーを押してください。また「ボリュームコントロール」または「Volume Control」などのダイアログボックスの設定がミュート（消音）になっていないか確認してください。

パソコン本体背面／下面

1 **盗難防止用ロック**

市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

POINT

- 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
  商品名：マイクロセーバー（セキュリティワイヤー）
  商品番号：0522010
  （富士通コワーコ株式会社 お問い合わせ：03-3342-5375）

2 **拡張キーボード／マウスコネクタ**

PS/2 規格のマウス（••▶『ハードウェアガイド』参照）やテンキーボード（••▶『ハードウェアガイド』参照）を接続するためのコネクタです。

3 **パラレルコネクタ**

プリンタなどを接続するためのコネクタです（••▶『ハードウェアガイド』参照）。

4 **外部ディスプレイコネクタ**

CRT ディスプレイなど、外部ディスプレイを接続するためのコネクタです（••▶『ハードウェアガイド』参照）。

5 **シリアルコネクタ**

RS-232C 規格のインターフェースを持つ機器を接続するためのコネクタです。

6 **内蔵バッテリパックロック**

内蔵バッテリパックを取り外すときにスライドさせます。

7 **拡張 RAM（ラム）モジュールスロット**

本パソコンのメモリをセットするためのスロットです。

「メモリについて」（••▶『ハードウェアガイド』参照）

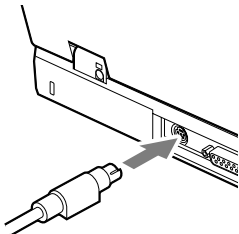
重 要

- 各コネクタに周辺機器を接続する場合は、コネクタの向きを確かめて、まっすぐ接続してください。

PS/2 マウスの接続

1 パソコン本体の電源を切るか（••▶P.9）、サスペンドさせます。

2 マウスを接続します。

マウスをパソコン本体背面の拡張キーボード／マウスコネクタに接続します。このとき、コネクタに刻印されている矢印が下側になるように接続してください。

POINT

- 内蔵ポインティングデバイスが搭載されていないモデルでは、パソコン本体の電源を入れる前に、必ずマウスを接続してください。
- 内蔵ポインティングデバイスと併用する場合や、ホットプラグ機能については、BIOS セットアップの「キーボード／マウス設定」で設定します（••▶『ハードウェアガイド』参照）。
- マウスは、定期的にクリーニングを行ってください（••▶『ハードウェアガイド』参照）。

電源を入れる

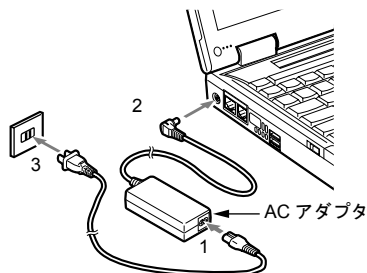
注意事項

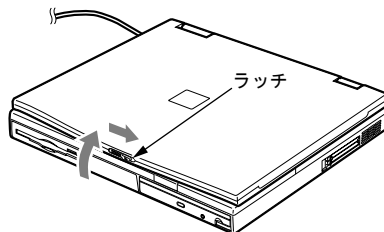
- 内蔵ポインティングデバイスが搭載されていないモデルでは、電源を入れる前に必ずマウスを接続してください。
- 電源を入れたら、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 電源を入れる場合、フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブにディスクがセットされていたら、取り出してください。
- マルチベイに何も取り付けていない状態で電源を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源を入れる際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください（••▶P.7）。

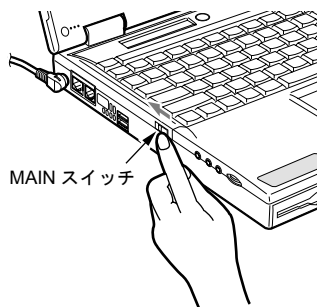
電源の入れかた

ここでは、本パソコンの通常の電源の入れかたについて説明します。

1 AC アダプタを接続します。

AC アダプタのコードを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、プラグをコンセントに接続します (3)。

2 液晶ディスプレイを開きます。

前面のラッチを右にスライドしてロックを外し、液晶ディスプレイに手をそえて持ち上げます。

3 パソコン本体の MAIN スイッチを ON にします。

パソコン本体に電源が入り、POST（自己診断画面）が始まります。また、状態表示 LCD の ⏻ などが点灯します。

POINT

- POST とは、Power On Self Test（パワーオンセルフテスト）の略で、パソコン内部に異常がないか調べる自己診断テストです。本パソコンの電源が入ると自動的に行われ、OS の起動直前に完了します。
- POST 中に電源を切ると、自己診断テストが異常終了したと診断されます。本パソコンでは、自己診断テストの異常終了回数をカウントしており、3 回続いた場合、4 回目の起動時にエラーメッセージ（••▶P.13）を表示します。POST 中は、不用意に電源を切らないでください。

電源を切る

注意事項

- MAIN スイッチを OFF にする場合は、OS を終了させるか休止状態にして、状態表示 LCD（••▶『ハードウェアガイド』参照）の SUS/RES 表示（⏻）が消えたことを確認してから行ってください。
- サスペンド時に MAIN スイッチを OFF にする場合は、本パソコンをいったんレジュームさせ、データの保存をし、OS を終了させてから行ってください。
- 一度電源を切り、再度電源を入れる場合は、10 秒ほど待ってから操作してください。
- 本パソコンの電源を切る場合は、あらかじめ CD やフロッピーディスクなどを取り出してください。
- 電源を切る際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください（••▶P.7）。
- 次の場合は MAIN スイッチを OFF にしてください。
  - ・本パソコンを携帯するとき
  - ・周辺機器の取り付けや取り外しを行うとき
  - ・バッテリ残量が少ないときや節電したいとき

電源の切りかた

■Windows Me の場合

1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。

「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。

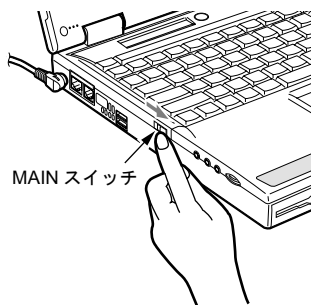
2 「終了」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

OS が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示 LCD の ⏻ が消えます。

POINT

- 手順2のあとMAINスイッチをOFFにしなければ、次回電源を入れるときはSUS/RESスイッチを押せば電源が入ります。
- 手順 1 で表示される画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどから OS を読み込み直すことです。
- 手順 1 で表示される画面で、「スタンバイ」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。

3 MAIN スイッチを OFF にします。

MAIN スイッチを矢印の方向（○側）へスライドさせます。

POINT

- このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

■Windows 98 の場合

1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。

「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。

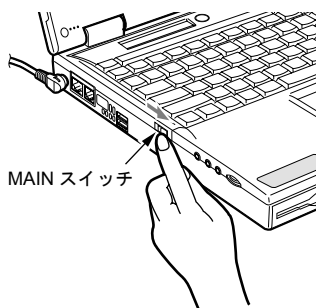
2 「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

OS が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示 LCD の ⏻ が消えます。

POINT

- 手順2のあとMAINスイッチをOFFにしなければ、次回電源を入れるときはSUS/RESスイッチを押せば電源が入ります。
- 手順１で表示される画面で、「再起動する」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどからOSを読み込み直すことです。
- 手順１で表示される画面で、「スタンバイ」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。

3 MAINスイッチをOFFにします。

MAINスイッチを矢印の方向（○側）へスライドさせます。

POINT

- このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、ACアダプタやバッテリパックを取り外してください。

■Windows 2000の場合

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

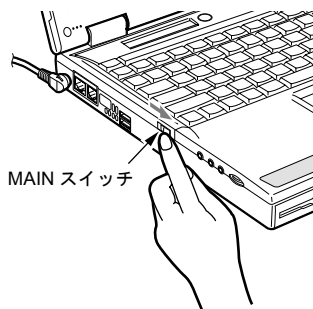
2 「シャットダウン」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

OS が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示LCDの ⏻ が消えます。

POINT

- 手順2のあとMAINスイッチをOFFにしなければ、次回電源を入れるときはSUS/RESスイッチを押せば電源が入ります。
- 手順１で表示される画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどからOSを読み込み直すことです。
- 手順１で表示される画面で、「スタンバイ」または「休止状態」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。
- 次のように電源を切ることもできます。
  1. 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを押します。
     「Windowsのセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
  2. 「シャットダウン」をクリックします。
     「Windowsのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
  3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。
     電源が自動的に切れます。

3 MAINスイッチをOFFにします。

MAINスイッチを矢印の方向（○側）へスライドさせます。

POINT

- このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、ACアダプタやバッテリパックを取り外してください。

■Windows NTの場合

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

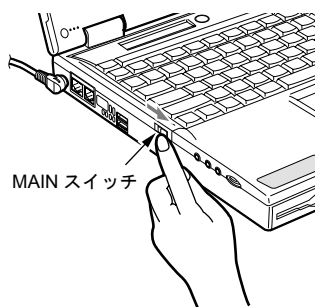
2 「コンピュータをシャットダウンする」が選択されていることを確認して、「はい」をクリックします。

OS が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示 LCD の ⏻ が消えます。

POINT

- 手順2で表示される画面で、「コンピュータを再起動する」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどから OS を読み込み直すことです。
- 次のように電源を切ることもできます。
  1. 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを押します。
  2. 「WindowsNT　のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されたら、「シャットダウン」をクリックします。
  3. 「コンピュータのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されたら、「シャットダウン後、電源を切る」を選択して「OK」をクリックします。電源が自動的に切れます。

3 MAIN スイッチを OFF にします。

MAIN スイッチを矢印の方向（〇側）へスライドさせます。

POINT

- このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

PC カードをセットする

ここでは、PC カードのセットについて説明します。

⚠ 注意

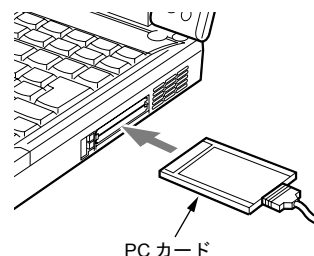
- PC カードをセットするときは、PC カードスロットに指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

POINT

- PC カードによっては、お使いの OS に関わらず、セットするときに電源を切る必要のあるものや、デバイスドライバのインストールが必要なものがあります。PC カードのマニュアルで確認してください。
- Windows 2000 および Windows NT の場合、OS の画面で表示される PC カードのスロット番号と、状態表示 LCD に表示される PC カードのスロット番号は異なります。
- Windows NT モデルではパソコン本体の電源を切ってから PC カードをセットしてください。ただし、Card Executive を使用している場合は、パソコン本体の電源を切らずに PC カードをセットすることができます（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。

1 Windows NT の場合は、パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します（••▶P.10）。

2 PC カードをセットします。

PC カードの製品名を上にして PC カードスロットに差し込みます。

3 Windows NT の場合は、AC アダプタを取り付け、パソコン本体の電源を入れます（••▶ P.8）。

4 初めてセットした PC カードの場合は、必要に応じてドライバをインストールします。

PC カードによっては、ドライバのインストールが必要なものがあります。PC カードのマニュアルをご覧になり、ドライバをインストールしてください。

POINT

- PC カードとコードを接続しているコネクタ部分に物をのせたり、ぶつけたりしないでください。破損の原因となります。

画面に何も表示されないときは

画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。

●状態表示 LCD の SUS/RES 表示を確認してください。
点灯している場合は、キーボードかポインティングデバイスに触れてください。
また、【Fn】キーを押しながら【F7】キーを押して、明るさを調整してください。
点滅している場合は、SUS/RES スイッチを押して動作状態にしてください。消灯している場合は、電源を入れてください（••▶ P.8）。

●バッテリ運用している場合は、状態表示 LCD のバッテリ残量表示を確認してください。
バッテリが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

BIOS をご購入時の設定に戻す

「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行したあとに、次の設定を変更してください。

●Windows 2000 モデルの場合
- 「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- 「省電力」－「省電力モード」：使用しない

●Windows NT モデルの場合
- 「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- 「詳細」－「シリアル／パラレルポート設定」－「赤外線通信ポート」：使用しない
- 「詳細」－「シリアル／パラレルポート設定」－「モード」：出力のみ
- 「省電力」－「省電力モード」－「ハードディスク省電力」：使用しない
- 「省電力」－「省電力モード」－「スタンバイタイマー」：16 分
- 「省電力」－「省電力モード」－「サスペンドタイマー」：使用しない
- 「省電力」－「詳細設定」－「サスペンド／レジュームスイッチ」：使用しない
- 「省電力」－「詳細設定」－「カバークローズサスペンド」：使用しない
- 「省電力」－「詳細設定」－「カバーオープンレジューム」：使用しない

●ワイヤレスマウス添付モデルの場合
- 「詳細」－「キーボード／マウス設定」－「ワイヤレスマウス」：使用する
- 「詳細」－「キーボード／マウス設定」－「内蔵ポインティングデバイス」：常に使用する

●内蔵ポインティングデバイスなしモデルの場合
- 「詳細」－「キーボード／マウス設定」－「ホットプラグ」：使用しない

BIOS が表示するメッセージ一覧

メッセージが表示されたときは

エラーメッセージが表示された場合は、次の手順に従って処置をしてください。

1 BIOS セットアップを再実行します。

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップの、各項目を正しい値に設定してください。
それでもメッセージが表示される場合には、BIOS セットアップの設定値をご購入時の設定に戻して起動し直してください。
「BIOS をご購入時の設定に戻す」（••▶ P.12）

POINT

- お使いの OS により、設定する値が異なる場合があります（••▶『ソフトウェアガイド』参照）。

2 周辺機器を取り外します。

周辺機器を取り付けている場合には、すべての周辺機器を取り外し、パソコン本体をご購入時の状態にして動作を確認してください。
それでも同じメッセージが表示される場合には、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

3 取り外した周辺機器を、1 つずつ取り付けます。

取り外した周辺機器を 1 つずつ取り付けて起動し直し、動作を確認してください。
また、割り込み番号（IRQ）を使用する周辺機器を取り付けたときは、割り込み番号が正しく割り当てられるように、設定を確認してください。このとき、各周辺機器のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合にはそれらのマニュアルも、あわせてご覧ください。

上記の処理を実行しても、まだ同じメッセージが表示される場合は、本パソコンが故障している可能性があります。富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

メッセージ一覧

本パソコンは、自動的に故障を検出します。故障の検出は、通常 POST（••▶ P.9）時に行われます。本パソコンが表示するメッセージの一覧は、次のとおりです。

POINT

- メッセージ中の「n」「x」「z」には数字が表示されます。

■正常時のメッセージ

●<ESC> キー：自己診断画面 /<F12> キー：起動メニュー / <F2> キー：BIOS セットアップ

起動時の「FUJITSU」のロゴマークが表示されているとき、画面の下に表示されます。このメッセージが表示されている間に【Esc】キーを押すと起動時の自己診断画面が表示され、【F2】キーを押すと BIOS セットアップが起動します。また、【F12】キーを押すと「起動メニュー」画面（••▶『ハードウェアガイド』参照）が表示されます。

●<F12> キー：起動メニュー/<F2> キー：BIOS セットアップ

起動時の自己診断画面の下に表示されます。このメッセージが表示されている間に【F12】キーを押すと「起動メニュー」画面（••▶『ハードウェアガイド』参照）が表示され、【F2】キーを押すと BIOS セットアップが起動します。

●BIOS セットアップを起動しています ...

BIOS セットアップの起動中に表示されます。

●nnnM システムメモリテスト完了。

システムメモリのテストが、正常に完了したことを表示しています。

●nnnnK メモリキャッシュテスト完了。

キャッシュメモリのテストが、正常に完了したことを示しています。

●システム BIOS がシャドウメモリにコピーされました。

システム BIOS が、シャドウ用のメモリに正常にコピーされたことを示しています。

●マウスが初期化されました。

マウス機能が初期化され、ポインティングデバイスが使えるようになったことを示しています。

POINT

- 正常時のメッセージを表示させる場合は、「FUJITSU」のロゴマークが表示されているときに、【Esc】キーを押します。また、常に表示させる場合は、「起動」メニューの「起動時の自己診断画面」の項目を「表示する」（••▶『ハードウェアガイド』参照）に設定してください。

■エラーメッセージ

●システムメモリエラー。オフセットアドレス : xxxx 誤りビット : zzzz zzzz

システムメモリのテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発見されたことを示しています。
メモリを増設しているときは、メモリを取り外して、もう一度電源を入れ直してください。
メモリを取り外しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●拡張メモリエラー。オフセットアドレス : xxxx 誤りビット : zzzz zzzz

拡張メモリのテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発見されたことを示しています。
メモリを増設しているときは、メモリが正しく取り付けられているか、または弊社純正品かを確認してください。
それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●メモリキャッシュのエラーです。-- キャッシュは使用できません。

キャッシュメモリのテスト中に、エラーが発見されたことを示しています。
電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●キーボードコントローラのエラーです。

キーボードコントローラのテストで、エラーが発生したことを示しています。
電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●キーボードエラーです。

キーボードテストで、エラーが発生したことを示しています。
テンキーボードや外付けキーボードを接続しているときは、正しく接続されているかを確認し、もう一度電源を入れ直してください。それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●フロッピーディスク A のエラーです。

フロッピーディスクドライブのテストで、エラーが発生したことを示しています。
もう一度電源を入れ直してください。電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●ディスクエラーです。: ハードディスク n

ハードディスクドライブの設定に誤りがあることを示しています。

BIOS セットアップを起動し、「メイン」メニューの「プライマリマスター」の各項目が正しく設定されているか、確認してください。電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●システムタイマーのエラーです。

システムタイマーのテストで、エラーが発生したことを示しています。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●リアルタイムクロックのエラーです。

リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●システム CMOS のチェックサムが正しくありません。- 標準設定値が設定されました。

CMOS RAM のテストでエラーが発見されたため、いったん標準設定値が設定されたことを示しています。

【F2】キーを押して BIOS セットアップを起動し、標準設定値を読み込んだあと、設定を保存して起動し直してください。それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●前回の起動が正常に完了しませんでした。- 標準設定値が設定されました。

前回の起動時に正しく起動されなかったため、一部の設定項目が標準設定値で設定されたことを示しています。

起動途中に電源を切ってしまったり、または BIOS セットアップで誤った値を設定して起動できなかったとき、3 回以上同じ操作で起動し直したときに表示されます。そのまま起動する場合は【F1】キーを押してください。BIOS セットアップを起動して設定を確認する場合は【F2】キーを押してください。

●<F1> キー : 継続 /<F2> キー : BIOS セットアップ

起動時の自己診断テストでエラーが発生したとき、OS を起動する前に本メッセージが表示されます。【F1】キーを押すと発生しているエラーを無視してOSの起動を開始し、【F2】キーを押すと BIOS セットアップを起動して設定を変更することができます。

●日付と時刻の設定を確認してください。

日付と時刻の設定値が不正です。

設定値を確認し、正しい値を設定し直してください。

●パスワードで保護されています。: ハードディスク n

取り付けたハードディスクドライブが、パスワードロック機能で保護されていることを示しています。そのハードディスクドライブが取り付けられていたパソコンと同じ「管理者用パスワード」を、本パソコンにも設定してください。パスワードがわからない場合は、そのハードディスクドライブは使用できません。

●サポートされないタイプのメモリが検出されました。

本パソコンでサポートされていないメモリが取り付けられていることを示しています。

メモリを増設しているときは、メモリを取り外して、もう一度電源を入れ直してください。

それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●メモリタイプのエラーです。 : SPD が 66MHz のメモリを示しています。

本システムには 100MHz のメモリが必要です。電源を落としてください。

本パソコンでサポートされていないメモリが取り付けられていることを示しています。

メモリを増設しているときは、メモリを取り外して、もう一度電源を入れ直してください。

それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●SPD が見つかりませんでした。- メモリ速度が不明です。

システムを正しく動作させるためには SPD が必要です。

メモリ速度 100MHz で起動しますか?

<Y> を押すとこのまま起動し、<N> を押すとシステムを停止します。

メモリのSPDデータを検出できなかったことを示しています。

【N】キーを押して電源を切り、メモリを増設しているときはメモリを取り外して、もう一度電源を入れ直してください。

それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●SPD が見つかりませんでした。- メモリ速度が不明です。

メモリ速度 100MHz で起動します。

メモリのSPDデータを検出できなかったことを示しています。

メモリを増設しているときは、メモリを取り外して、もう一度電源を入れ直してください。

それでも本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●NVRAM データが正しくありません。

NVRAMデータのテストでエラーが発見されたことを示しています。

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●ハードディスク上のSave To Disk領域が見つかりませんでした。

Save To Disk 機能を使用するためには、Save To Disk 領域を作成してください。

ハードディスク上に、Save To Disk 領域が確保されていないことを示しています。

●ハードディスク上の Save To Disk 領域が不足しています。

Save To Disk 機能を使用するためには、Save To Disk 領域を作成し直してください。

ハードディスク上の Save To Disk 領域の容量が不足しているため、Save To Disk 機能を使用できないことを示しています。

●ハードディスクが検出されませんでした。

Save To Disk 機能は使用できません。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●不明な Save To Disk エラーが発生しました。

Save To Disk 機能は使用できません。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●ハードディスクからの読み取りに失敗しました。

Save To Disk 機能は使用できません。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●ハードディスクへの書き込みに失敗しました。

Save To Disk 機能は使用できません。

電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

●ハードディスク上のSave To Disk領域が壊れている可能性があります。

Save To Disk 機能を使用するためには、Save To Disk 領域を作成し直してください。

●Save To Diskを行ったハードディスクが検出されなかったため、システム状態を復元できませんでした。

システム状態を復元するには、電源を切って、Save To Diskを行ったハードディスクを接続した後、システムを再起動してください。

<F1> キーを押すと、このまま起動します。

●Save To Diskを行ったハードディスクが交換されているため、システム状態を復元できませんでした。

システム状態を復元するには、電源を切って、Save To Diskを行ったハードディスクを接続した後、システムを再起動してください。

<F1> キーを押すと、このまま起動します。

●Invalid system disk

Replace the disk, and then press any key

フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。

フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。

●Non-System disk or disk error

Replace and press any key when ready

フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。

フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。

●Operating system not found

OS が見つからなかったことを示しています。

BIOS セットアップの「起動」メニューの設定が正しいか、指定したドライブに OS が正しくインストールされているかを確認してください。

●PXE-E61:Media test failure, Check cable

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。LAN ケーブルが正しく接続されていません。LAN ケーブルを正しく接続してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

●PXE-E51:No DHCP or BOOTP offers received

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。起動時に必要な IP アドレスが取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

● PXE-E53:No boot filename received

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバから boot filename を取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

● PXE-E78:Could not locate boot server

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがないか、正しく動作していません。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

● PXE-E89:Could not download boot image

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバ上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

● PXE-E32:TFTP open timeout

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、ご購入元または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に連絡してください。

POINT

- 本書に記述されていないシステムエラーメッセージが表示された場合は、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

付録

CD-R/RW ドライブユニットをお使いの方へ

お使いのモデルにより内蔵 CD-R/RW ドライブユニットが搭載されています。

■推奨ディスク

CD-RおよびCD-RWは､以下のディスクの使用を推奨します。

● CD-R

富士通サプライ品：CD-R74（74 分）/0241220
太陽誘電　　　　：CD-R74/670T
三井化学　　　　：GOLD-74

● CD-RW

富士通サプライ品：CD-RW74/0241410
リコー　　　　　：CD-RW TYPE 74
三菱化学　　　　：RW74Q1

富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。
お問い合わせ：03-3342-5375

■リカバリした後に

Easy CD Creator および DirectCD は、出荷時にパソコン本体にインストールされています。ハードディスクの内容をリカバリした場合は、各アプリケーションはリカバリされませんので、再インストールを行ってください。

㋳ 0104-1